



春は そこまで…♪

月日の流れは早いもので、アツという間に2月を迎えました。先週の金曜日には北風の吹く中に雪が舞う寒い日でしたが、園児たちは元気に登園してきました。正門前で出迎えていると、握った手の平を広げて見せながら「園長先生、雪を捕まえたよ」とか「帽子のここの部分に雪がのったヨ」などと楽しそうに話してくれました。そんな園児たちとカイロを隠し持った私が朝の挨拶を交わしながら、「子どもは風の子…だなあ」を実感したところです。

ところで、「豆まきなどの行事でおなじみの節分は、いつですか？」と聞かれたら、「2月3日」と答える人も多いことだと思います。しかし、今年は特別な日となっているようです。今年の節分はニュースや天気予報等で紹介されていますが、2月2日になります。2月3日でなくなるのは、1984年(昭和59年)2月4日以来37年ぶり、2月2日になるのは1897年(明治30年)以来124年ぶりのことだそうです。年によって、どうしてこのようなちがいがおこるのでしょうか？難しい話になりますが、「現在、立春は太陽の黄経が315度になるとき」と定義されていて、今年はそれが2月3日23時59分(国立天文台：暦要項)となるため、1分余りという実に微妙な差で立春は2月3日となっているそうです。それにもとない節分はその前日、2月2日にやってくることになります。

暦の上では冬から春へと季節が変わっていきます。園内で春を探してみますと、写真のように菜の花が花瓶に生けてありました。春はそこまでやってきているようです。他にも花壇のチューリップの芽や樹木のコブシ？(モクレンかも?)の芽なども見受けられました。



【春を告げる菜の花】

しかし、春に咲こうとせっかく芽を出したばかりのチューリップでしたが、無残にもカラス？だと思われる鳥に引きちぎられていました。他にもチューリップの芽がたくさん出始めていますが、被害に合わないといいけど…。



【無残なチューリップ】

園舎内は

可愛い動物でいっぱい

年長さんの保育室の方からは楽器の音色が聞こえてきます。友だちと一緒に楽器を演奏する楽しさを味わっているようです。

年中さんは「こーるの森」に出かけたり、はさみやのり、折り紙を使って好きな遊びをしています。



…と、園舎を歩いていると、ネコさんやブタさん、ウサギさんにクマさん、ネズミさん、リスさん等、色んな動物さんと出会います。頭に

耳をつけたり、お尻に尻尾をつけたりして、動物になりきって遊んでいます。ニャオ～、ピョンコピョンコなど鳴き声や動作をしてくれます。また、「美味しそうなお握りを食べているね」というと、「リスさんだからクリだよ、園長先生」と叱られたりもします。年少の皆さんがとっても可愛らしい動物になりきり、絵本の世界にどっぷりと入り込んで遊んでいます。そして、劇遊びへと発展していきます。緊急事態宣言のため参観はできませんが、ライブ配信やDVD配付などで披露しようとしています。



アルミ缶の中にあるミカン

「高貴な洒落(ダジャレとは思っていませんが…)が得意な園長先生」と保護者会便りに書かれていたので、年長の子供達達が、「アルミ缶の中にあるものなあ～に？」とか「アルミ缶の中にあるミカン(=アルミ缶)」などと話しかけてきます。また、保護者の皆さんからも「楽しく読みましたよ」と声をかけていただきました。保護者会の三役の皆さんにお便りで紹介していただいたおかげだと思っています。ありがとうございました。一日も早くコロナが収束し、幼稚園の日常が戻ってくることを願っています。